

主要な農作物の生育状況（３月１日現在）

専門技術グループ

【麦 類】

３月１日現在の大麦「シュンライ」の生育（農業試験場）は、草丈がやや長く、茎数は少なくなっています。小麦「きぬあずま」「アブクマワセ」の生育（相馬支場）は、草丈が平年並み、茎数は少なくなっています。「アブクマワセ」の節間伸長開始期は２月１８日で、平年より１０日早くなっています。

なお、現地での生育も、平年並～やや早めとなっています。

【野 菜】

１ いちご

夜冷育苗の促成作型は、第１次腋果房（２番花）の収穫終期、第２腋果房（３番花）の結実・肥大期です。生育、着果数ともほぼ平年並です。

ポット育苗の促成作型は、第１腋果房（２番花）の収穫開始期、第２腋果房（３番花）の開花期で生育は平年並です。

病害虫の発生は、うどんこ病、ハダニ類の発生が多く見られます。

県北地方の半促成作型では、第１腋果房の収穫始めです。着果数が多いため、３月以降の草勢低下が懸念されます。

２ に ら

伊達地方や須賀川地方では、２年株の３番刈りがほぼ終了（伊達地方では収穫終了）し、１年株の２番刈りを収穫中です。

低温により葉の伸びが遅く、収穫までの日数が４０日以上要する状態です。葉が老化するためＬ級までの伸びを待たず、Ｍ級での収穫も行われています。また葉幅も狭くなっています。

病害虫の発生は、白斑葉枯病の発生が多くなっています。

【果 樹】

昨年１１～１２月の気温が高めに経過したことから、自発休眠の進展が遅れ、モモ、リンゴ、ナシの発芽は平年より遅れる見込みです。

本年の発芽は、今後の気温が平年並みに経過した場合、モモ「あかつき」が４月１日頃で平年より４日遅く、ナシ「幸水」は４月８日頃で平年より３日遅く、リンゴ「ふじ」は４月２日頃で３日遅いと予測されます。

なお、この時期の生育は気温により大きく影響されるので、今後の気温の推移に注意が必要です。

表１ 発芽予測日

発育速度（DVR）モデルによる発育予測

	発芽日		今後の気温経過		
	昨 年	平 年	平年並み	２ 高い	２ 低い
あかつき	3月19日	3月28日	4月 1 日	3月27日	4月 7 日
幸 水	3月29日	4月 5 日	4月 8 日	4月 2 日	4月15日
ふ じ	3月25日	3月30日	4月 2 日	3月27日	4月 8 日